



研修センター中庭に設置された七夕用の笹の葉

7月に入りました。外国人の入国制限の影響により、授業が行なわれなくなってから早くも5ヶ月が経とうとしています。この間、なかなか先が見えない状況が続いていましたが、国内のワクチン接種が進んできていることで、少しずつではありますが、入国再開に向けて光が見え始めたように感じています。当校日本語講師陣でも、ワクチン接種が終わった者、今月中に2回目の接種を終える予定の者が出はじめています。

また、23日からは、いよいよ東京でオリンピックがスタートします。それに合わせて、海外からの選手団も続々と入国を果たしています。この国際的なスポーツの祭典の開催が、今後の外国人の入国再開に向けた力強い推進力になると信じ、引き続き、万全の準備に取り組んでいきたいと思えます。

あじけんスコープ Vol.99 ~実習生のいない七夕まつり



7月2日(金)に行われた7月の日本語講師研修会に合わせて、研修センター中庭に毎年恒例の七夕用の笹の葉が設置されました。今年は実習生の滞在が無い為、寂しい七夕まつりとなってしまいましたが、研修会に参加した日本語講師陣が、実習生の皆さんに代わって、それぞれの思いを短冊に託しました。

私たちの願いが叶い、一日も早く、技能実習生の日本への入国規制措置が解かれ、研修センターがみんなの笑顔で溢れますように。



研修センター中庭で、短冊を持つ当校日本語講師陣

今月の実習生番外編

今月は、番外編として、7月9日に参加したJITCO(国際人材協力機構)の日本語指導担当者実践セミナーについてお伝えします。

教務主任の栗又、日本語講師の藤原、梅田の3名で参加してまいりました。このセミナーでは実習生の日本語講習における指導のポイント、技能実習生に必要な「聞く」「話す」力をつけるための指導方法等について、実践的に学ぶことが出来ました。

JITCOのオリジナル日本語テキスト「技能実習生のための日本語みどり」の使い方もうかがうことが出来、今後の授業にも活用できそうな手ごたえを感じました。まだ経験の浅い当校2名の講師にとっても今後の授業に役に立つセミナーだったと思います。

このセミナーで学んだことを実習生への授業でいかせるよう、今後も研究を続けていきます。



講師の先生と当校参加者(左から栗又、大貫先生、新野先生、梅田、藤原)感染予防の為マスクを着用しています。

あじけん流日本語授業

～ 講師研修会「実習生寮見学」 ～

今月のあじけん流日本語授業は、7月2日に行なわれた講師研修会の様子をご紹介します。午前は先月お伝えした新しいテキストの使い方について、座学で勉強会を行ないました。午後は、実習生寮等の管理を担当している施設管理スタッフと、日本語指導を担当している教務課スタッフがお互いの業務内容を共有し、当校での教育効果を更に向上させる目的で、日本語講師陣が実習生寮の見学を行ないました。

寮の見学は、実習生がいない今だからこそできる活動ということで、講師の先生方もじっくりと見学していました。見学会では、はじめに、実習生の寮でのトラブルについて入寮担当スタッフより話を聞きました。寮での問題は、基本的には入寮担当スタッフが対応しているため、講師の耳に入ってくるのが少ないので、講師も熱心に話を聞いていました。実際の見学では、担当スタッフから配付された部屋のチェックポイントをもとに、部屋の設備などを見学し、実際に開けたり、触ったりしながら、実習生の寮での生活をイメージしていました。寮の様子を知ることで、授業中の実習生とのコミュニケーションもより楽しくできるのではないかと思います。今月も講師研修会を通し、授業再開を待ちわびる講師と内容の濃い研修会ができました。入国の再開はいつになるかわかりませんが、「きぼう」講師陣はそれまでしっかりと準備をしていきたいと思ひます。



写真1：チェックポイントをもとに水回りの見学



写真2：冷蔵庫の中も見てみました



写真3：部屋の中、布団の様子も見学



写真4：食器棚の見学

※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます。